



2020年11月12日

各位

会社名 株式会社力の源ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 河原 成美
(コード番号：3561 東証第1部)
問合せ先 取締役CSO 山根 智之
(TEL. 03-6264-3899)

特別利益及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2021年3月期第2四半期連結決算におきまして、下記のとおり、特別利益及び特別損失を計上することとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別利益の計上について

2021年3月期第2四半期連結会計期間(2020年7月1日～2020年9月30日)において、新型コロナウイルス感染症に係る「補助金収入」として286百万円を計上いたしました。

これにより第1四半期で計上した「補助金収入」と合計した第2四半期の累計額は332百万円となりました。

2. 特別損失の計上について

(1) 臨時休業等による損失

2021年3月期第2四半期連結会計期間(2020年7月1日～2020年9月30日)において、新型コロナウイルス感染拡大に伴う政府及び自治体からの緊急事態宣言の発令等を受け、休業及び時短営業をした国内外の店舗及び工場に係る固定費について「臨時休業等による損失」として498百万円を計上いたしました。

これにより第1四半期で計上した「臨時休業等による損失」と合計した第2四半期の累計額は1,340百万円となりました。

なお、当該固定費の主な項目は、店舗・工場等の施設における休業期間中の人件費、地代家賃、減価償却費等になります。

(2) 減損損失

当社グループが保有する固定資産について、新型コロナウイルス感染症の影響による収益性の低下を理由とした退店の意思決定等により「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理を行い、「減損損失」として290百万円を計上いたしました。

これにより第1四半期で計上した「減損損失」と合計した第2四半期の累計額は296百万円となりました。

3. 業績に与える影響

上記、特別利益及び特別損失が業績に与える影響につきましては、本日公表の「2021年3月期第2四半期決算短信」をご参照下さい。

以上